



鉢形城歴史館平成24年春季企画展

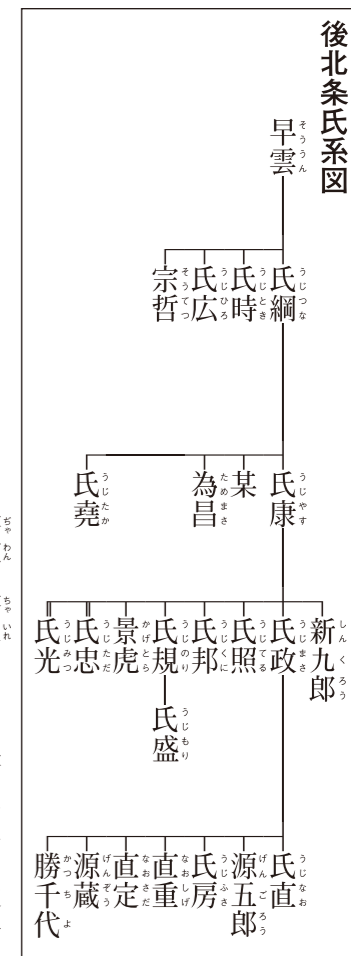
鉢形城主氏邦とその兄弟

～出土品から見た後北条氏ゆかりの城～

鉢形城主・北条氏邦は、小田原城を治めた後北条氏三代目、北条氏康の四男です。氏邦の父である氏康には、氏邦を含めて、8人の息子と8人の娘がいました。氏康は、子どもたちと有力者の婚姻による養子縁組を行い、小田原城を中心とした守りの体制を作りあげ、勢力拡大の足掛かりとしました。

今回の企画展では、氏邦の兄弟たちに焦点を当て、それぞれに縁のある城跡の出土品を中心に紹介します。兄弟が力を合わせて守ろうとした、広範囲に渡る後北条氏の領土の要である城の様相を見に、ぜひお越しください。

開催期間／3月17日(土)～5月6日(日) ※3月19日(月)、21日(水)、26日(月)、4月2日(月)、9日(月)、16日(月)、23日(月)は休館日です。
開館時間／午前9時30分～午後4時30分 ※入館は午後4時まで
入館料／一般200円、高校生・大学生100円(70歳以上、中学生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料)
問い合わせ／鉢形城歴史館(☎586・0315)へ。



氏邦と鉢形城

氏邦の生年は諸説ありますが天文十二(一五四三)年ごろと言われている。氏邦は天文十九年ごろ、武蔵北西部を治めていた藤田氏の婿養子となり、天神山城(長瀬町)に入ったと言われている。その後、永禄七(一五六四)年(十一)年ごろから、氏邦は鉢形城を拠点にして、北武蔵と上野支配を担っていました。

鉢形城は文明八(二四七六)年、長尾景春によって築城されたと言われています。文明十年には太田道灌により、景春は秩父へ追いやられ、鉢形城は関東管領山内上杉氏の城となります。その後、氏邦によって現在の外曲輪まで整備されたと言われています。



茶入 (鉢形城跡出土)



筈 (小田原城跡出土)

氏政は氏康の二男で、長男新九郎が早世したために、氏政が本家を継ぎました。生年は諸説ありますが天文七(一五三八)年ごろと言われています。氏政は永禄二(一五六九)年に、氏康より家督が譲られ、北条氏の四代目当主となりました。

小田原城は大森氏によって十五世紀中ごろに築かれたと言われています。明応四(二四九五)年、初代北条早雲が大森氏から小田原城を奪い、二代目から五代目まで北条氏の拠点となります。なお、現在の小田原城は江戸時代になつてから改築された姿であり、後北条氏が活躍した戦国時代の姿は八幡山古廓と呼ばれる部分に色濃く残されています。

小田原城からは陶磁器が大量に出土し、小田原と大陸で貿易が盛んであったことが分かります。また後北条氏に

よつて拡張されたと言われる三の丸跡からは、漆椀、陣傘、下駄、笄なども出土しています。

氏照と八王子城

氏照は、天文九(一五四〇)年(十一)年ごろに氏康の三男として生まれました。弘治二(一五五六)年ごろに大石綱周の婿養子となり、由比領(八王子市・日野市の一部)を治めるようになり、永禄四(一五六二)年に新築した滝山城(八王子市)に本拠地を移し、さらに天正八(一五八〇)年には八王子城(八王子市)を築城し本拠地を改めます。

八王子城は天正十八(一五九〇)年六月二十三日に一日で豊臣軍によって攻め落とされたことから、城跡からは種類豊富な大量の道具が出土しています。全国的に珍しい、ベネチア製レースガラス器なども出土しています。



ベネチア製レースガラス器 (八王子城跡出土)

氏規と葦山城

氏規は天文十四(一五四五)年に氏康の五男として生まれましたが、幼少時に、母方の祖母である今川氏の寿桂尼に預けられ、永禄七年(一五六七)まで駿府で人質生活を送ります。帰国後は北条綱成の娘婿となり、永禄九年(一五六九)から相模三浦郡の支配をはじめ、その後、城代などとして葦山城(伊豆の国市)や館林城



漆椀 (葦山城跡出土)

氏忠と唐沢山城

氏忠は、父・氏康の弟・氏堯の子で、氏堯の死後、氏康の養子になったと言われている。元亀元(一五七〇)年ごろ、氏康の伊豆所領を継ぎ、新城城(神奈川県山北町)の城将となりました。その後、天正十四(一五八六)年、佐野宗綱の婿養子となり唐沢山城(佐野市)主となりました。

唐沢山城は、佐野氏によって十五世紀後半に築城されたと言われています。永禄三年以後に長尾景虎(上杉謙信)が関東へ進出すると、唐沢山城は一時期、上杉方の支配下に入ります。天正十四年以後、氏忠は根小屋部分の改修などを行い、最大の城域まで拡張します。北条氏敗北後は佐野氏が再び城主となり、この城の特色となっている石垣が築かれます。城跡からは陶磁器やかわらけ、

常滑の大甕などが出土しています。



大甕 (唐沢山城跡出土)

氏光と深沢城

氏光は氏忠と同様に、氏堯の子で氏康の養子と言われています。元亀元年、深沢城(御殿場市)の後詰となり、翌年には足柄城将となり足柄城(足柄市・静岡県小山町)を準備します。その後、北条宗哲の娘婿となり、元亀三年より小机城(横浜市)主となります。

深沢城は十六世紀初めごろに今川氏が築城したと言われています。永禄十二(一五六九)年に弱体化した今川氏から北条氏の手に移ります。この城は甲斐・相模・駿河の三国の境目に位置していたことで争奪戦が繰り返され、元亀二年以後は武田方の城となり、天正十二年には徳川氏の手に移ります。城跡からは陶磁器、かわらけ、鉄砲玉などが出土しています。



かわらけ (深沢城跡出土)

募集します！
鉢形城 ボランティアガイド
鉢形城を案内してみませんか？

鉢形城跡は、国指定史跡で多くの観光客が訪れる、町を代表する名所の一つです。

町では、観光客の皆さんを「おもてなしの心」で迎え、鉢形城の魅力を紹介する「鉢形城ボランティアガイド」を募集します。

鉢形城をもっと知って楽しんでもらえるよう、皆さんのご協力をお願いいたします。

業務内容／鉢形城公園・歴史館など、鉢形城に関する案内、歴史文化や施設の概要などを説明していただきます。

対象／年齢・性別・町内外の方等を問いません。

研修／事前に鉢形城の歴史文化・施設概要・ガイドの心得などの研修を行います。

申し込み／生涯学習課および鉢形城歴史館に備え付けの申込書に必要事項を記載のうえ、生涯学習課、または鉢形城歴史館へ4月27日(金)までにお申し込みください。